春日部嬉泉病院広報誌　発行日：令和７年７月２３日　編集・発行：春日部嬉泉病院広報誌編集チーム

麦わらの帽子

No.3
令和7年7月発行
ご自由にお持ちください

麦わらの帽子 第３号です。
春日部市の夏祭りも成功して皆様も夏休みの予定に胸を膨らませている頃だと思います。
私達は昨年度から第2手術室を増設し、AI搭載のCT、AI搭載のエコー２台、1.5テスラのMRI装置を購入しました。今まで以上に診断・診療に役立ってくれることと胸を膨らませています。
腎不全の予防・透析の患者さんでも美味しく食べられる減塩のうな丼を7/22に入院食・職員食ともに提供します。
さらに新しく3名の常勤ドクターを招き入れました。
次のページでご紹介いたします。

春日部嬉泉病院　病院長　丸山寿晴

～レシピ紹介～

毎回食事のワンポイントご紹介をいたします。当院の食事は塩分１日６ｇの腎臓・心臓・脳血管・高血圧に優しい食事となっています。

うな丼

材料・作り方（2人分）

	うなぎ白焼き	１００ｇ（１尾）
	酒	１０ｇ（小さじ2）
たれ	★減塩醤油	１８ｇ（小さじ3）
たれ	★酒	１０ｇ（小さじ2）
たれ	★みりん	１０ｇ（小さじ2）
たれ	★さとう	９ｇ（小さじ3）
たれ	山椒	お好みで

1. うなぎの皮面に熱湯をかける（ポイント！）
2. フライパンにクッキングシートを敷き、その上にうなぎをのせて酒をかける。　（うなぎは皮面を下にする。）
3. 蓋をして弱火で蒸し焼きにする。
4. うなぎを取り出し、フライパンに★の調味料を入れて煮詰める。（フライパンの中に残った水分も一緒に！）
5. たれを別皿に移しておく
6. フライパンにうなぎをのせ、両面を少し焦げ目がつくまで焼く。
7. 最後にたれ入れて絡めながら焼く。
8. 熱々のごはんに乗せて完成！

〈ちょっとひと手間！おいしさのポイント〉

◎うなぎを洗う？！熱湯でキリっと！
焼きあがってから時間が経過したうなぎは冷えたことで皮が硬くなってしまい、食べたときに好ましくない食感と風味を感じさせてしまいます。皮面に熱湯をかけることによって、固まってしまったゼラチン質を溶かし、身を柔らかくしながら臭みを洗い落とします。こうすることで皮までふっくらした焼き上がりになります！
熱湯をかける際は身が崩れないよう優しくかけてあげましょう！

ふっくら食感で美味しいですよ！

栄養科長

栄養科Instagram
日々のメニューなど
掲載中

編集後記

いよいよ夏がやってきましたね☀ついつい冷たい物ばかり食べてしまう今日この頃です（暑い時期こそ温かい物を食べたほうがよいみたいですが…）
さて、当院では今年度より新しい常勤の先生をお迎えし、手術室の増設やMRI装置、新しいCT・エコー装置の導入など、今までよりも格段にパワーアップした環境で地域の皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。

春日部嬉泉病院広報担当　飯塚

医療法人社団嬉泉会
春日部嬉泉病院
〒344-0067
埼玉県春日部市中央1-53-16
TEL.048-736-0111
FAX.048-734-1700
「春日部駅」西口 徒歩3分
https://www.kasukabe-kisen.jp/

新しい常勤の先生が加わりました

麻酔科　濱口祐人 医師　2025.4.1入職

◇日本麻酔科学会専門医、日本区域麻酔学会認定医
◇神経ブロックなどを活用し、患者さんが快適な周術期を過ごせるよう麻酔管理を行います。

腎臓内科　海渡彩 医師　2025.6.1入職

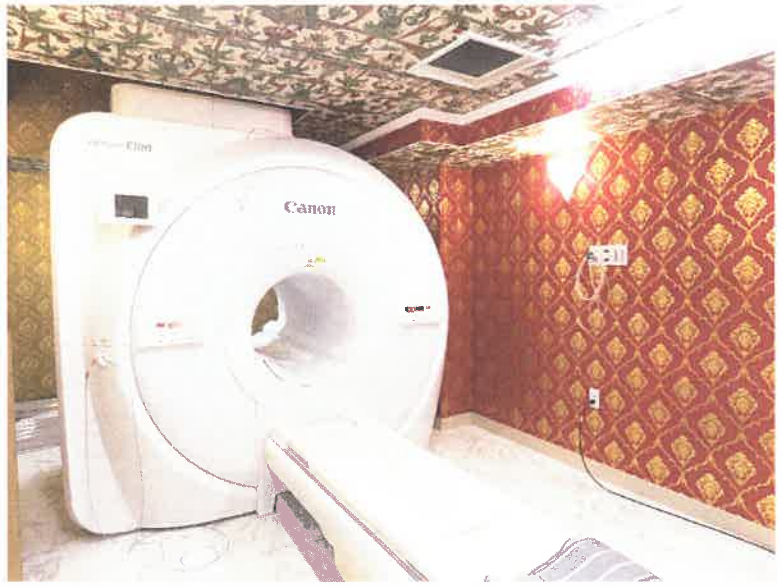
◇日本内科学会専門医、日本腎臓学会会員
日本透析学会会員
◇総合病院の腎臓内科にて腎機能障害の精査・加療および透析を中心に診療を行ってまいりました。患者様に寄り添った、より良い医療を提供できるよう頑張ります。

血液内科　木村文彦 医師　2025.7.1入職

◇医学博士、総合内科専門医、血液専門医・指導医
輸血細胞治療学会認定医、造血細胞移植認定医
◇幅広い患者さんの診療にたずさわりながら、血液疾患診療の経験を生かして春日部の医療に貢献します。

春日部嬉泉病院は2025年6月1日に開院40周年を迎えました。
これもひとえにご来院いただいた地域の皆様、日頃よりご支援いただいている各医療機関の皆様のおかげでございます。この場をお借りし、心より感謝申し上げます。
今後も職員一同力を合わせて努力してまいりますので、変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

新設備が続々OPEN



MRI（Vantage Elan）

1.5テスラMRIを導入しました。
先進の高速撮像技術を搭載しております。撮像時間を短縮できる機種のため患者さんの負担軽減ができます。高分解能な画像を得ることができます。
検査は、入室から退室まで15分以内に撮影できます。頭頸部MRAを含めた撮像が可能のため、精度の高い画像での診断を実現しています。
きれい・かんたん・コンパクトに“速さ＆確かさ”を加えてさらなる進化を遂げた装置です。

CT装置

今回導入したCT装置は、AIを搭載し検査のキヤノン独自のAIテクノロジー*により、検査環境に左右されず一貫性のある検査結果へ導きます。 低被爆のため患者さんが安心できる検査と、迅速に高品質な画像で診断が可能な検査です。

エコー装置

今回導入したエコー（Aplio α　Verifia）は、AI技術により開発されたアルゴリズムを搭載し、より正確な心エコー検査が可能です。